

窓口支援事例 【茨城県 知財総合支援窓口】

企業情報

朋友株式会社			
所在地	茨城県笠間市		
ホームページ URL	https://for-you-co.localinfo.jp/		
設立年	2003年	業種	機器製造・販売
従業員数	2人	資本金	1,000万円

企業概要

当社は、粉体容器等金属製品の製作・販売を目的として 2003年に設立しました。その後、自社製品として、果樹園で使用する器具や用具に特化した製品の製造販売を開始しました。主な製品は、果実採取機「もぎとりくん」、果樹の枝を曲げる「捻枝鋏」、梨園等の栽培棚の押し上げ機「ラックアップリフター」、果実収穫等「ワゴン・電動台車」などです。



温湯散布装置

企業理念は、「培ってきた知識・知恵と技術及び経験を活かしたものづくり」で社会に貢献し、「もっと楽に！もっと楽しく！」の行動指針の下、多々の要望を解決できるお客にとって必要な企業であり続けることです。

自社の強み

世の中のニーズを捉え、タイムリーに利便性の良い用具・器具を提供できること。常に現場の声を聴き、独りよがりの製品にしないこと。即刻試作に反映できること。試作後は現場に行き、さらに要望を取り入れ、改良した製品を提供できること。

茨城大学と共同開発した「温湯散布装置（ゆけむらー®）」は、この思想の基に制作し販売したものです。

販売戦略としては、ネットワーク「foryoumart」を立ち上げ、社長を先頭にスタッフ全員がセールスマンとして取り組んでいること。



アーチ90度型

一押し商品

■ ポール&リフター

アルミ製伸縮自在ポールにリフターをセットし、棚や主枝をらくらくUP。

■ 捻枝鋏

梨やリンゴの木の枝を柔らかいうちに折り曲げて、棚に括り付ける果樹捻枝鋏。

■ 温湯散布装置

50度の湯をイチゴの葉に散布し、病害虫に強いイチゴを育てるもの。ヒートショックといわれている。

■ アーチ型果樹摘果鋏（意匠登録第 1454874 号）

刃を湾曲した剪定鋏（写真参照）



アーチ45度型

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

社長は、茨城大学と特許許諾契約をしており、特許の重要性を認識されていました。梨やリンゴの収穫を初めとして摘果や摘花は腕を真上にして作業する必要があり、これを解決するために剪定鋏の刃を湾曲に曲げればよいことに気づかれましたが、余りに単純な形状なので、簡単に模倣される恐れがありました。そのため、模倣を防ぐべく早期に権利化するため専門家の力を借りて知財権の取得を試みたのがきっかけです。

最初の相談概要

実際の製品は、単に刃を90度に曲げたものなので、早期に権利取得できる実用新案で「先端部を90度に曲げたこと」を権利範囲として出願しました。ところが、90度では加工が難しく、45度程度でも機能的に満足することが分かりました。一方、実用新案を回避できる角度の異なる類似品が出回ることは明らかでした。そのため、類似品を抑え、侵害を予防する他の知財権がないかと相談を受けました。

その後の相談概要

実際に曲り角度の異なる刃の剪定鋏を制作し、観察してみると、見た感じが類似していました。模倣されたときは、その立証を必要としない意匠権があり、一方、模倣の立証を必要とする不正競争防止法もあることも説明しました。今回は、模倣の立証を必要としない意匠権を取得できないかを検討しました。一方、実用新案の登録公報が公開されていないのを確認できたので、意匠出願としました。又、意匠に係る物品（剪定鋏）の刃の形状に特徴があるので、「部分意匠」で出願し、湾曲率の異なる（小さい）剪定鋏をもカバーするようにしました。現在、模倣品は出ておりません。

窓口を活用して変わったところ

実用新案のみでなく、その他の知財権も駆使して、自己の事業を防御することができました。ホームページ（foryoumart）やパッケージに実用新案や意匠番号の表示ができることから、宣伝ができ、販売量が増大しました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

特に、模倣されやすい製品は、目に見える知的財産権（例えば意匠権）による保護を図っています。

窓口担当者から一言（氏名：齋藤 幸一）



この案件は、実用新案のほかに意匠権も取得して、事業をカバーできたものです。他の知財権の取得も考えてください。事業にリンクした知財戦略を考えておられる企業様はご一報ください。

窓口支援事例 【茨城県 知財総合支援窓口】

企業情報

朋友株式会社			
所在地	茨城県水戸市元台町 1465-1		
ホームページ URL	http://for-you-co.com		
設立年	2003年	業種	機器設計・製造・販売
従業員数	5人	資本金	1,000万円

企業概要

当社は、粉体容器等金属製品の製作・販売を目的として 2003 年に設立しました。その後、自社製品として、果樹園で使用する器具や用具に特化した製品の製造販売を開始しました。主な製品は、果実採取機「もぎとりくん」、果樹の枝を曲げる「捻枝鋏」、梨園等の栽培棚の押し上げ機「ラックアップリフター」、果実収穫等「ワゴン・電動台車」などです。



温湯散布装置

企業理念は、「培ってきた知識・知恵と技術及び経験を活かしたものづくり」で社会に貢献し、「もっと楽に！もっと楽しく！」の行動指針の下、多々の要望を解決できるお客にとって必要な企業であり続けることです。

自社の強み

世の中のニーズを捉え、タイムリーに利便性の良い用具・器具を提供できること。常に現場の声を聴き、独りよがりの製品にしないこと。即刻試作に反映できること。試作後は現場に行き、さらに要望を取り入れ、改良した製品を提供できること。

茨城大学と共同開発した「温湯散布装置（ゆけむらー®）」は、この思想の基に制作し販売したものです。

販売戦略としては、ネットワーク「foryoumart」を立ち上げ、社長を先頭にスタッフ全員がセールスマンとして取り組んでいること。



アーチ90度型

一押し商品

■ ポール&リフター

アルミ製伸縮自在ポールにリフターをセットし、棚や主枝をらくらくUP。

■ 捻枝鋏

梨やリンゴの木の枝を柔らかいうちに折り曲げて、棚に括り付ける果樹捻枝鋏。

■ 温湯散布装置

50度の湯をイチゴの葉に散布し、病害虫に強いイチゴを育てるもの。ヒートショックといわれている。

■ アーチ型果樹摘果鋏（意匠登録第 1454874 号）

刃を湾曲した剪定鋏（写真参照）



アーチ45度型

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

社長は、茨城大学と特許許諾契約をしており、特許の重要性を認識されていました。梨やリンゴの収穫を初めとして摘果や摘花は腕を真上にして作業する必要があり、これを解決するために剪定鋏の刃を湾曲に曲げればよいことに気づかれましたが、余りに単純な形状なので、簡単に模倣される恐れがありました。そのため、模倣を防ぐべく早期に権利化するため専門家の力を借りて知財権の取得を試みたのがきっかけです。

最初の相談概要

実際の製品は、単に刃を90度に曲げたものなので、早期に権利取得できる実用新案で「先端部を90度に曲げたこと」を権利範囲として出願しました。ところが、90度では加工が難しく、45度程度でも機能的に満足することが分かりました。一方、実用新案を回避できる角度の異なる類似品が出回ることは明らかでした。そのため、類似品を抑え、侵害を予防する他の知財権がないかと相談を受けました。

その後の相談概要

実際に曲り角度の異なる刃の剪定鋏を制作し、観察してみると、見た感じが類似していました。模倣されたときは、その立証を必要としない意匠権があり、一方、模倣の立証を必要とする不正競争防止法もあることも説明しました。今回は、模倣の立証を必要としない意匠権を取得できないかを検討しました。一方、実用新案の登録公報が公開されていないのを確認できたので、意匠出願としました。又、意匠に係る物品（剪定鋏）の刃の形状に特徴があるので、「部分意匠」で出願し、湾曲率の異なる（小さい）剪定鋏をもカバーするようにしました。現在、模倣品は出ておりません。

窓口を活用して変わったところ

実用新案のみでなく、その他の知財権も駆使して、自己の事業を防御することができました。ホームページ（foryoumart）やパッケージに実用新案や意匠番号の表示ができることから、宣伝ができ、販売量が増大しました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

特に、模倣されやすい製品は、目に見える知的財産権（例えば意匠権）による保護を図っています。

窓口担当者から一言（氏名：齋藤 幸一）



この案件は、実用新案のほかに意匠権も取得して、事業をカバーできたものです。他の知財権の取得も考えてください。事業にリンクした知財戦略を考えておられる企業様はご一報ください。

窓口支援事例 【茨城県 知財総合支援窓口】

企業情報

朋友株式会社			
所在地	茨城県水戸市元台町 1465-1		
ホームページ URL	http://for-you-co.com		
設立年	2003年	業種	機器設計・製造・販売
従業員数	5人	資本金	1,000万円

企業概要

当社は、粉体容器等金属製品の製作・販売を目的として 2003年に設立しました。その後、自社製品として、果樹園で使用する器具や用具に特化した製品の製造販売を開始しました。主な製品は、果実採取機「もぎとりくん」、果樹の枝を曲げる「捻枝鋏」、梨園等の栽培棚の押し上げ機「ラックアップリフター」、果実収穫等「ワゴン・電動台車」などです。



温湯散布装置

企業理念は、「培ってきた知識・知恵と技術及び経験を活かしたものづくり」で社会に貢献し、「もっと楽に！もっと楽しく！」の行動指針の下、多々の要望を解決できるお客にとって必要な企業であり続けることです。

自社の強み

世の中のニーズを捉え、タイムリーに利便性の良い用具・器具を提供できること。常に現場の声を聴き、独りよがりの製品にしないこと。即刻試作に反映できること。試作後は現場に行き、さらに要望を取り入れ、改良した製品を提供できること。

茨城大学と共同開発した「温湯散布装置（湯いちご®）」は、この思想の基に制作し販売したものです。

販売戦略としては、ネットワーク「foryoumart」を立ち上げ、社長を先頭にスタッフ全員がセールスマンとして取り組んでいること。



アーチ90度型

一押し商品

■ 粉体のホッパー

ダクトから送られてきた粉体を、袋詰めするステンレスホッパー

■ 捻枝鋏

梨やリンゴの木の枝を柔らかいうちに折り曲げて、棚に括り付ける果樹捻枝鋏。

■ 温湯散布装置

50度の湯をイチゴの葉に散布し、病害虫に強いイチゴを育てるもの。ヒートショックといわれている。

■ アーチ型果樹摘果鋏

刃を湾曲した剪定鋏（写真参照）



アーチ45度型

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

社長は、茨城大学と特許許諾契約をしており、特許の重要性を認識されていました。梨やリンゴの収穫を初めとして摘果や摘花は腕を真上にして作業する必要があり、これを解決するために剪定鋏の刃を湾曲に曲げればよいことに気づかれましたが、余りに単純な形状なので、簡単に模倣される恐れがありました。そのため、模倣を防ぐべく早期に権利化するため専門家の力を借りて知財権の取得を試みたのがきっかけです。

最初の相談概要

実際の製品は、単に刃を90度に曲げたものなので、早期に権利取得できる実用新案で「先端部を90度に曲げたこと」を権利範囲として出願しました。ところが、90度では加工が難しく、45度程度でも機能的に満足することが分かりました。一方、実用新案を回避できる角度の異なる類似品が出回ることは明らかでした。そのため、類似品を抑え、侵害を予防する他の知財権がないかと相談を受けました。

その後の相談概要

実際に曲り角度の異なる刃の剪定鋏を制作し、観察してみると、見た感じが類似していました。模倣されたときは、その立証を必要としない意匠権があり、一方、模倣の立証を必要とする不正競争防止法もあることも説明しました。今回は、模倣の立証を必要としない意匠権を取得できないかを検討しました。一方、実用新案の登録公報が公開されていないのを確認できたので、意匠出願としました。又、意匠に係る物品（剪定鋏）の刃の形状に特徴があるので、「部分意匠」で出願し、湾曲率の異なる（小さい）剪定鋏をもカバーするようにしました。現在、模倣品は出ておりません。

窓口を活用して変わったところ

実用新案のみでなく、その他の知財権も駆使して、自己の事業を防御することができました。ホームページ（foryoumart）やパッケージに実用新案や意匠番号の表示ができることから、宣伝ができ、販売量が増大しました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

特に、模倣されやすい製品は、目に見える知的財産権（例えば意匠権）で保護するようにしましょう。それが、御社の事業を発展させることにもなります。

知財の課題は、知財総合支援窓口で解決できます。専門家の相談も無料です。

窓口担当者から一言（氏名：齋藤 幸一）



この案件は、実用新案のほかに意匠権も取得して、事業をカバーできたものです。他の知財権の取得も考えてください。事業にリンクした知財戦略を考えておられる企業様はご一報ください。